

## 10-1 学部等の理念・目的及び学部等の使命・目的・教育目標

- A 群・大学・学部等の理念・目的・教育目標とそれに伴う人材養成等の目的の適切性
- A 群・大学・学部等の理念・目的・教育目標等の周知の方法とその有効性
- C 群・大学・学部等の理念・目的・教育目標を検証する仕組みの導入状況
- C 群・大学・学部等の理念・目的・教育目標の、社会との関わりの中での見直しの状況

### 学部全体

本学部は、青山学院の教育方針「青山学院の教育はキリスト教信仰にもとづく教育をめざし、神の前に真実に生き真理を謙虚に追求し、愛と奉仕の精神をもって、すべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成を目的とする。」(『授業要覧〔国際政治経済学部履修ガイド〕』)、さらに、青山学院大学の理念に含まれる「地球規模の視野に基づく正しい認識をもって自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。」に基づき、学部の理念を「真理を謙虚に追求し、広く世界の人々と交わり、平和と繁栄に貢献しうる人格を陶冶する」と定めている。これは、本学部が憲法上の学問の自由や、学校教育法の趣旨に沿うものであることを十二分に示している。

その学部名称が表すとおり、本学部の特長は、**国際性と学際性**にある。すなわち、政治、経済を国際的視野から捉えることができるようになることと、社会事象を政治学、経済学、コミュニケーションといった多角的な側面から捉えることができる人材の育成を目的にしている。したがって、本学部は**国際政治学科、国際経済学科、国際コミュニケーション学科**の3学科を有しているが、学科の垣根は低く、他学科科目が履修科目群に含まれるだけでなく、**コース制(5コース)**によってより柔軟な履修を可能にしている。

本学部は1982年4月の設立以来、6,218名(2006年5月現在)が卒業し、多くの卒業生が**国際機関や国際ビジネスの現場で活躍**しており、このことは本学部の目的が達成されつつあることを示している。このような、学部の理念、目標は『学部パンフレット〔国際政治経済学部〕』やホームページに掲載され、教職員、学生、受験生などに広く周知している。

### 国際政治学科

本学科は、**国際関係の根本問題から現代の国際事象を含む国際政治を、理論、歴史、政策、地域研究などさまざまな角度から体系的に教授し、国際社会の第一線で活躍できる人材を育成することを目的とする**。さらに本学科では、国際政治を分析する能力、国際的な問題を解決する能力、国際社会でリーダーとしての役割を果たせる能力など、国際舞台で通用する能力を身に付けさせることを教育の重点に据えている。

この目的のために、本学科は「**政治外交・安全保障コース**」と「**グローバル・ガバナンスコース**」2コースの教育を担当している。前者は国際政治学、安全保障、国際法、外交史などを中心とした国際関係を重視した正統派の伝統的な国際政治を学ぶコースで、後者は、温暖化防止など地球的規模の問題を解決するための新しい国際政治学である。

本学科は1982年4月に本学部設置の際に国際経済学科とともに設置され、2006年5月までに2,095名の卒業生を送り出している。これらの中には、外務省に入省する卒業生や、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)やUNTAET Human Rights Unit(国連暫定行政機構・人権部)などの国際機関で活躍する

卒業生が出てきている。また環境省に入省し地球環境問題の専門家となったり、国際協力銀行（JBIC）など日本政府の開発援助機関へ就職する卒業生も出ている。これらのことは、本学科の設立の目的を達成しつつあることを示している。

### 国際経済学科

本学科では、学部理念に基づき、**国際的な視野に立ち、科学的な枠組みに基づいて国際的な経済事象を体系的に把握し、問題解決の方策を建てる能力を持つとともに、国際経済場で実際に活躍できる国際人を養成することを目的としている。**このような人材の育成のため、本学科では「**国際経済政策コース**」と「**国際ビジネスコース**」2コースの教育を担当している。前者は貿易、国際金融、経済開発に焦点を当て、国や産業レベルでの国際経済問題を解決するための政策を学修するコースであり、後者は企業レベルでの国際的な経済活動について学修するコースである。各コースでは、それぞれの分野を効率よく体系的に学修できるようなカリキュラムを提供している。

本学科は1982年4月に本学部設置の際に国際政治学科とともに設置され、2006年5月までに2,512名の卒業生を送り出している。これらの中には、世界銀行や国際通貨基金などの国際機関や、国際金融やビジネスの分野で活躍している卒業生の他、数名ではあるが、経済学者として国際的な業績を上げアメリカの大学で教鞭をとっている卒業生もいる。これらのことは、本学科の設立の目的を達成しつつあることを示している。

### 国際コミュニケーション学科

本学部の理念は、大学のホームページにも記されているように、「真理を謙虚に追求し、広く世界の人々と交わり、平和と繁栄に貢献しうる人格を陶冶する」ことである。それではどのようにしてこの理念は現実化するであろうか。

人間の営為はすべてコミュニケーションという事象に還元できる。安全保障しかり、グローバルガバナンスしかり、市場の原理しかり、またビジネスやマネジメントも基本はコミュニケーションにある。そこで2006年4月に新設されたばかりの本学科では、国家間の外交から友人との会話にいたるまで、意思の伝達がどのように行われるか、その様相や法則、改善の方法を学ぶ。

しかもいまや政治・経済・社会の中のコミュニケーションが行われる舞台は日本の中にとどまらず、全世界に広がっている。そのような時代背景を敏感に受け止めて本学科は創設された。もともと本学部の国際政治学科と国際経済学科が担ってきた教育に新たに国際コミュニケーションという分野を付け加えることで、本学部の国際人養成の目的はより一層具体的になったといえる。そして、本学科が「**国際コミュニケーションコース**」の教育を担当する。

コミュニケーションという言葉のみに注目されがちであるが、この国際コミュニケーション学科は、言語の背景である文化にも注目し、政治や経済なども含む**国際的な環境におけるコミュニケーション事象全体を学修の対象とする。**グローバル化が進む世界の中で、国際的なコミュニケーションの改善に役立つこの学科の学びは、愛と奉仕の精神をもって社会に貢献するという建学の精神にも一致するものである。

なお、本学科で学んだ学生たちは卒業後、国際交流の場や国際機関、または国際NGOに活躍の場を見いだしたり、通訳や翻訳の仕事につくこと、あるいは国際的なコミュニケーション関連領域の研究職につくこと、そしてそれだけでなく**どんな場においても文化の架け橋となること**が期待されている。